

# 鎮守の森

— 神が宿る森 —

在来種を脅かしている外来種や有害樹種を  
追い払うのではなく、森を守る、祓う役目として  
生まれかわる。

森の静寂を守り、森の音を聞く。



## 森音 morioto

森が作り出す音に、  
神が音連れる。





## 森音とは

その森で生息したシュロで縄(緒)を作り、土鈴をつけたものを木にくくりつける。  
森が風に揺られて鈴の音が森に響き渡る。

耳を澄ませば、鈴の音が森のささやき声となってあちらこちらから聞こえてくる。

その音は天まで届き、神が森にいることをあらわす。

役目を終わると年月をかけて自然に還る。

## 鈴と緒の意味

鈴

鈴は、中にあるものを外に出して澄みきった状態にする意味を持つてる。  
そして清らかな音色から人の心を和ませ、邪なるものを祓う力があると考えられている。

緒

緒という言葉には、「魂をつなぐもの・いのち・玉の緒」という意味がある。  
「ここ」と「向こう」をつなぐもの、地上と天をつなぐもの。

## 鈴緒

地上と天がつながり、「音」がなることで神がおとづれる。(音連れる)  
そして森の中で鳴る音は神を感じる音となる。